



とうちく

東築ハート (HEART) 学校評価アンケートまとめ

名古屋市立東築地小学校 学校だより

令和7年 3月3日発行

H人に優しく E笑顔を忘れず A「ありがとう」と「挨拶」を大切に R楽な気持ちで粘り強く Tたゆまず学び続けよう

令和6年度 学校評価アンケートの結果をお知らせします

本校の教育活動を振り返り、成果や問題点を明らかにし、改善を図ることを目的として、学校評価を実施しました。保護者のみなさまにはアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。また、児童、職員に対してもアンケートを実施しました。集計結果と考察を載せさせていただきました。ご覧ください。



評価結果の見方について

保護者、児童、教職員からのアンケートを比較しました。

A（よくあてはまる）を4点、B（だいたいあてはまる）を3点、C（あまりあてはまらない）を2点、D（まったくあてはまらない）を1点として計算・平均化しました。

平均点が3.2点（80％）以上のものをおおむね満足とし◎の判定をし、3.0点（75％）未満のものについては△の判定をしました。

「(知)よく考える子」「(徳)仲よくする子」「(体)じょうぶな子」の育成について

評価指標			得点	判定
知	保護者	子どもは授業が分かり、楽しいと言っている。	3.05	○
	児童	学校の授業は、分かりやすく、楽しい。	3.38	◎
	職員	基礎学力向上に向けた学習環境の整備や指導の改善を行い、子どもが授業で分かる楽しさを味わうことができた。	3.18	○

「楽しい」「よく分かる」と答える児童が昨年度より増えています。朝の「まなびタイム」などで、基礎基本的な学習を反復練習して取り組んでいます。こつこつとした積み重ねが、子どもたちの自信になってきていると考えます。「ナゴヤ学びのコンパス」を踏まえて、分かる楽しさを味わうことができるような授業を目指していきます。

評価指標			得点	判定
知	保護者	子どもは、タブレットを活用したり、学習形態や学習課題を選択したりして、自分に合った方法で学ぶことができています。	2.94	△
	児童	タブレットを勉強に役立てている。自分に必要な勉強が何かを考えて、勉強を頑張っている。	3.28	◎
	職員	努力点研究を通して、子どもが学習形態や学習課題を選択、修正させる手立てを工夫し、子どもたちが主体的に学んだり、自分の課題に応じた学習を進めたりする姿が見られるなど成果が見られた。	3.30	◎

保護者の方の得点が他より低くなっています。「ナゴヤ学びのコンパス」に基づいた授業や学校が目指している授業（努力点と言います）について詳しく情報発信していく必要があると感じています。タブレットを用いた学習については、日頃より、子どもたちはタブレットに慣れ親しみ、学習の中で使いこなすことができるようになってきています。

評 価 指 標			得点	判定
徳	保護者	子どもは、「生活のきまり」など、きまりや約束を守って生活している。	3.32	◎
	児童	みんな、学校のきまりやマナーを守って過ごしている。	3.23	◎
	職員	「生活のきまり」に基づいた指導を全校で行い、子どもがルールやマナーを守って生活することができた。	2.96	△

多くの子どもたちは決まりや約束を守った生活をしていますが、一部守れていない子もいます。そのことが原因となりトラブルに発展することもあります。学校と家庭が一体となって子どもたちが決まりや約束を守れるようにしたいと思います。引き続き、粘り強く働き掛けていきたいと思っています。

評 価 指 標			得点	判定
徳	保護者	子どもは自他を大切にできる気持ちを持ち、進んであいさつをするなど、いごこちのよい学校生活を送っている。	3.23	◎
	児童	友達や先生は、自分にあいさつをしたり、優しく・仲よくしたりしてくれる。	3.63	◎
	職員	「あいさつ」や自他を大切にできる指導を行い、子どもがいごこちよく学校生活を送ることができた。	3.35	◎

全体的に高い評価を得られています。挨拶については、保護者・児童・職員の全てにおいて、昨年度より「よくあてはまる」という回答が増えました。代表委員会の挨拶運動の取り組みや「東築ハート」の5つの合言葉を覚えようという呼び掛けが成果として出ています。挨拶をはじめとして、異学年での交流活動を通して、感謝や思いやりの心を養っていきます。

評 価 指 標			得点	判定
体	保護者	子どもは、進んで運動したり、給食をしっかり食べたりして、健康で丈夫な体づくりに努めている。	3.46	◎
	児童	休み時間に運動場で元気よく遊んだり、運動したりしている。	3.10	○
	職員	子どもの健康や体力の向上に配慮し、「子どもが休み時間に、運動場で元気よく遊んだり、運動したりする姿」が見られた。	3.57	◎

特に、保護者の方から、昨年度より「よくあてはまる」という回答が増えました。トウチクマラソンや長なわ大会の記録向上に向けて、休み時間に友達を誘いあって運動場で遊ぶ姿をよく目にします。体力運動能力調査では、名古屋市平均を上回る種目が昨年度と同数程度ありました。健康で丈夫な体づくりをこれからも続けてほしいと思っています。

評 価 指 標			得点	判定
体	保護者	子どもたちは、安全に気を付けて登下校している。	3.37	◎
	児童	安全に気を付けて登下校している。	3.57	◎
	職員	登下校に関する指導を適切に行い、子どもが安全に気を付けて登下校することができた。	2.74	△

保護者・児童・職員の全てにおいて、昨年度と比べると得点は下がっています。多くの児童は安全な登下校ができていますが、分団登校に遅れてしまう子、下校時にトラブルを起こしてしまう子がいます。より安全な登校にするために、まず、基本的なこととして、遅刻せずに分団で登校することができるようになりたいと強く思います。ご家庭での力が不可欠ですので、ご協力をお願いします。下校中のトラブルについても、大人の目がなくても自制した振る舞いができるように、根気強く指導していきたいと思っています。

誰もが気持ちよく過ごすことのできる学校づくりを目指した取り組みについて

評 価 指 標			得点	判定
行事	保護者	学校行事は、子どもたちが仲間と協力しながら成長することができるよう工夫されている。	3.48	◎
	児童	学校には、勉強以外にも、いろいろな行事があり楽しい。	3.71	◎
	職員	学校行事（運動会・作品展・トウチクフェスティバルなど）を工夫し、子どもが仲間と協力しながら成長することができた。	3.57	◎

全体的に高い評価を得られています。子どもたちの成長につながるように、限られた時間の中で、学習活動に影響が出ないように、運動会、作品展、トウチクフェスティバルなどを引き続き工夫して行っていきたいと思います。学芸会実施を望まれる声を一部、聞きますが、練習から実施に掛ける時間、準備、人手を考慮した結果、負担が大きく実施する余裕がないのが現状です。ご理解ください。

評 価 指 標			得点	判定
児童理解	保護者	学校は、心身の健康や学習のことなど、子どもからの相談に適切に応じている。	3.34	◎
	児童	教育相談のときや、自分になやみや相談ごとがあったときには、先生によく話を聞いてもらっている。	3.44	◎
	職員	教育相談の機会を適切にもち、子どもの心身の健康・学習・日常生活などの問題解消に努めることができた。	3.52	◎

全体的に高い評価を得られています。年2回行っている教育相談、2年生以上で行っているwebQU、hyperQUを利用した自己を振り返るアンケート、高学年で行っている心の元気チェック、希望によるスクールカウンセラーとの相談などをこれからも行い、子どもたちの悩みの早期発見、解決に結び付けていきます。

評 価 指 標			得点	判定
連携	保護者	学校は、保護者が児童や学校の様子を知る機会を適切に設け、家庭との連携に努めている。	3.37	◎
	職員	授業参観・懇談会・きずなネット・たよりの発行など、保護者が授業や学校生活の様子を知る機会を適切に設け、家庭と連携して教育活動に取り組むことができた。	3.61	◎

全体的に高い評価を得られています。きずなネットを利用することで、ご家庭と学校との連携を充実させていきたいと思います。来年度は、お便り（学年だより、学校だよりなど）をきずなネットでも配信できるようにしていきたいと思います。そのためにも、ご家庭からのきずなネット登録率を100%にしていきたいと考えています。

評 価 指 標			得点	判定
今日的な課題	保護者	学校は、よりよい学校づくりのために、教育活動の見直しを積極的に進めている。	3.32	◎
	児童	学校がよりよくなるように、先生たちは、いろいろなくふうをしている。	3.61	◎
	職員	よりよい学校づくりのための改善と働き方改革の両立のため、効率的に業務を進めることができた。	3.23	◎

全体的に高い評価を得られています。教育効果と効率性を考えながら、よりよい学校づくりのために、教育活動の見直しを今後も進めていきます。

次のようなご意見やご感想、要望をいただきました

タブレットの利用について

「タブレットが重い」「持ち帰りが大変」といった声がありました。これらは令和3年度の導入時から常に寄せられています。確かに本校に配備されたタブレットは重く、また、子どもたちが長い道のりを登下校していることを考えると、特に低学年の児童にとって負担になっていることは間違いありません。毎日の持ち帰りをしているのは、「充電器」の問題です。もし、充電器を原則学校保管とした場合、必要があってタブレットを持ち帰る際には、充電器も一緒に持ち帰ることになります。また、全員分の充電器の設置や取り外しは短時間ではできません。となると、「めんどうだからタブレットを使うのをやめよう」という雰囲気生まれてしまいます。本校では、「充電は家庭で。毎日の持ち帰りの負担に見合うぐらい、しっかり活用していく。」という方針です。実際に、子どもたちは自由自在に使いこなすことができるようになってきています。タブレットの本体は700g（教科書2～3冊相当）、キーボードは600gです。少しでも持ち帰りの負担を減らすため「使わない教科書は置いていってよい」「キーボードだけ学校に置いていってよい」などの約束にしています。今回、各学年での負担軽減を示すお知らせを配布しました。少しでも学習用具の持ち帰りの負担を減らし、子どもたちの学習環境を整えていきたいと思ひます。

電話対応の時間帯について

「分団での登校途中の緊急連絡はどうすればよいか」という声がありました。電話対応の基本的な時間帯は3月12日（水）から、8：00～17：00です。しかし、分団登校中の緊急連絡の場合の電話対応は7：45～8：00の間も受け付けていくことを検討しています。あくまでも緊急連絡がある場合の対応になるので、欠席・遅刻等の電話連絡は8：00以降にお願いしたい（基本はきずなネットに入力）と考えています。詳しく決まり次第、お知らせします。

分団登校について

「家庭数の減少により分団での登校人数が少なくて心配です」という声がありました。本校の児童数は減少傾向にあります。分団の合併が必要なところは進めていきます。また、班員の遅刻・欠席が重なったために少数での登校になってしまったという声もありました。基本的なこととして、まずは、遅刻せずに分団で登校することができるよう声掛けをしていきたいと思ひます。もし、1～2人で歩いている班を見かけた場合は、安全に登校できるように、声を掛け合い、他の班に合流して登校することを分団会で子どもたちに伝えていきます。

感染症情報の発信について

「校内で流行している感染症情報が知りたい」「学級閉鎖になるまで何も情報がないのが気になる」という声がありました。インフルエンザやコロナなどの感染症状況や、発熱、かぜの欠席数が増えている場合には、きずなネットでお知らせしていきます。本校では一学級当たりの人数が少なく、連休明けに突然、欠席者が増加することで、急な学級閉鎖の連絡になることもありえます。子どもたちの健康状態を注視し、ご家庭に情報を発信できるように努めていきます。

冬の生活などの課題について

「冬休みの宿題が多くて大変だった」という声がありました。「夏の生活」や「冬の生活」の課題は、学校の予算で購入し配布しています。夏休みや冬休みの課題は、子どもたちに合った、よりよい内容、量のものになるように検討していきます。特に、冬休みについては期間も短いこともあり、子どもたちに基礎的な力がしっかりと身に付くように漢字・計算を中心とした課題にすることを検討しています。

その他に

「いつもありがとうございます」「いつも楽しそうに登校します。ちゃんと向き合ってもらい、厳しい時は厳しく、ちゃんと自分で考えてできるようにしてもらっていると感じています。」といった声もいただきました。大変、励みになります。ありがとうございます。